



北海道

防衛HOKKAIDO

編集・発行
防衛省北海道防衛局 広報委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7579
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

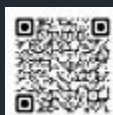


令和7年度釧路自衛隊
町中パレード
(釧路町提供)

「絆（きずな）」釧路駐屯地と釧路町の紹介	P2～3
令和7年度版防衛白書の紹介 レゾリュート・ドラゴンの対応	P4
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の紹介	P5
防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について（第4回）	P6
装輪装甲車（人員輸送型）AMV 出荷式	P7
北海道防衛局長感謝状贈呈 学校での業務説明会	P8
北海道防衛施設地方審議会	P9
防衛省選考採用 自衛官等採用案内	P10

北海道防衛局
ホームページ

北海道防衛局
公式X



2025
12
vol.96



「絆 (きずな)」

釧路駐屯地

陸上自衛隊 釧路駐屯地の紹介



釧路駐屯地創立72周年記念行事

釧路駐屯地は、北海道の東に位置し、道東防衛の要として重要な役割を担っており、昭和28年に開設されて今年で72年を迎えました。

釧路駐屯地は、第27普通科連隊を基幹とする10個部隊が駐屯し、道東の第一線として、国防と地域の安全に貢献しています。

釧路湿原の広がるこの地域は、自然豊かで四季彩鮮やかな環境に恵まれています。

駐屯地は「信頼される駐屯地」をモットーに、災害協力や地域イベントなど参加を通じて、平素から地域社会との関係構築により、強い絆を築いています。

釧路町との関係性

釧路駐屯地は釧路町と、長年にわたり親密な信頼関係を築いてきました。特に釧路町に所在する釧路演習場、射撃場においては年間を通じて様々な訓練を実施させていただいております。

また、釧路自衛隊町中パレードへの参加、地域防災訓練など各種行事を通じて、釧路町とは常日頃から密接で良好な関係を築いており、地域住民の皆様からも自衛隊の活動に対して、理解と信頼を寄せていただいております。



防災訓練の支援



自衛太鼓の演奏



町中パレードの参加



第27普通科連隊長
兼ねて釧路駐屯地司令
1等陸佐 高橋 央人

釧路町に所在する釧路駐屯地は、地域の皆様に支えられながら今年創設72周年を迎えました。

これまでの間、道東防衛の第一線として、地域の皆様に支えられながら、釧路・根室地方の防衛警備はもとより、災害派遣や国際任務等の各種任務を遂行してまいりました。

これからも駐屯地隊員が一丸となって各種任務を遂行し、地域の皆様から信頼される駐屯地の継承に努めてまいります。



「絆 (きずな)」 釧路町



小松 茂 釧路町長

自衛隊の皆様には、日夜厳しい訓練に励み、国の防衛をはじめ、災害派遣や地域活動など、日々献身的な活動をしていただいていることに深く感謝申し上げます。

自衛隊員の皆様の重要性がより高まりを見せる昨今、当町といたしましても関係機関との更なる連携強化を図り、地域の安全・安心な生活を未来につなぐまちづくりに邁進してまいります。

「あらゆるものを超えていく釧路超」 釧路町



当町は、北海道の南東部に位置する人口1.8万人の町で、“超”がつくほどの美しさ、おいしさ、楽しさ、ユニークさが詰まっている町です。

日本最大の釧路湿原は、日没間際には世界三大夕日と称えられる夕日が沈みゆく中、空と原野の色彩が変化する幻想的なひとときを味わうことができます。

当町の仙鳳趾は、知る人ぞ知る牡蠣の名産地です。ここで育った牡蠣は、見た目は小ぶりでありながら、殻に対して身が大粒で、強い甘味と濃厚でコクのある味わいが特徴です。殻を開けて嬉しい、食べて美味しい最高の牡蠣です。

当町は「釧路超民」と題して、当町を応援してくださる方を迎え入れています。町に関心を持ってくださる方との繋がりを増やしながら、オンラインBBQ大会など、これからもユニークな挑戦を続けていきます。



仙鳳趾 (せんぼうし) の牡蠣

釧路町と防衛省・自衛隊との関わり

陸上自衛隊釧路駐屯地の皆様には、国防の最前線にあたり、釧路の地において、国土の安全を守り続けられるとともに、当町の防災訓練への参加や職員研修へのご協力など多大なご尽力をいただいております。

また、「釧路駐屯地及び第27普通科連隊の創立記念行事」「釧路自衛隊町中パレード」においては、地域との絆を一層深められるとともに、威風堂々の観閲行進や格闘・訓練展示などを通し、地域のみなさまに勇氣と安心感を与えてくださっています。

釧路町防災訓練



釧路町職員研修



釧路演習場周辺 除雪施設 設置助成事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

この除雪車は、自衛隊の事故等が発生した場合における住民の避難又は消防活動の円滑化を図るための施設として整備しました。

【補助事業の概要】

補助事業の内容：除雪トラック 1台

事業年度：令和5年度

補助対象事業費：59,422千円

補助額：44,566千円 (補助率7.5/10)





令和7年度版防衛白書の紹介

防衛省・自衛隊は、多くの国民の皆様におが国防衛の現状とその課題や防衛省・自衛隊の取組についてご理解をいただくことを目的に防衛白書を刊行しています。

令和7年度版防衛白書は、これまでの表紙とは趣向を変え「国民の平和な暮らしを守る自衛隊」をコンセプトに、幅広い世代に支持を得つつも、特に若者世代に人気の高いヨシフクホノカさん（長崎県諫早市出身）にイラストを作成いただきました。

戦略三文書策定後3年目の防衛力の抜本的強化の進捗状況のほか、本年3月に新設した統合作戦司令部や、自衛官の処遇・勤務環境の改善などの防衛省・自衛隊の取組について紹介しています。



令和7年度版防衛白書
電子版

地方公共団体への白書説明

北海道防衛局は、陸・海・空自衛隊及び自衛隊地方協力本部と連携し、防衛省・自衛隊と地方公共団体との連携強化を図るため、道内の地方公共団体等に対し、令和7年度版防衛白書の紹介及び概要の説明を行っています。



掛水北海道防衛局長による
横田千歳市長への説明



掛水北海道防衛局長による
濱坂副知事への説明



掛水北海道防衛局長による
秋元札幌市長への説明



レゾリュート・ドラゴンの対応

9月11日から9月25日までの間、丘珠駐屯地、北海道大演習場、計根別着陸場、矢白別演習場等において、国内における米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン25）が実施されました。

本訓練では、日米共同による実弾射撃訓練や米軍のオスプレイによる離着陸訓練などが実施されました。

北海道防衛局は、関係する自治体に対し訓練に係る情報提供を行いました。また、訓練期間中は、訓練場所へ職員を派遣し、部隊との連絡調整や訓練に関する情報収集及び米軍契約における物品・役務の現地支援を行いました。



陸上自衛隊による
MLRSの射撃の様子



特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の紹介

防衛省では、ジェット機が離発着する飛行場や砲撃又は航空機による爆撃が実施される演習場など、その設置・運用が周辺地域の生活環境や開発に著しい影響を及ぼしている防衛施設（特定防衛施設）の関連市町村に、公共用の施設の整備又はその他の生活環境の改善や開発の円滑な実施に寄与する事業に充てるため、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等の規定に基づき、特定防衛施設周辺整備調整交付金を交付しています。

今回は、交付金を使用して整備した事例の一部を紹介します。

【北海道における特定防衛施設】

千歳飛行場、上富良野演習場、北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）、然別演習場、矢白別演習場、北海道補給処白老弾薬支処

小学校屋外階段の改修（令和6年度千歳市）

事業概要

老朽化により安全性が低下した屋外階段の改修を行い、児童・教職員の安全な避難経路を確保する。

市職員の声

屋外階段が改修されたことで児童が安心して学べる環境を整備することができました。



屋外階段(左：改修前 右：改修後)

医療機器の整備（令和6年度別海町）

事業概要

老朽化した医療機器を更新し地域医療の安定と充実を図る。

病院従事者の声

本機器の更新により処理能力が大きく向上し、患者様の待ち時間が短縮され、一層の安心と充実を確保することができました。



マルチスライスCT装置



防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について (第4回 領域横断作戦能力の強化)

わが国の安全保障政策にかかる主要な文書である「国家安全保障戦略」などの「戦略三文書」において、防衛力の抜本的強化にあたり重視する7つの機能・能力が位置付けられています。

今回は、領域横断作戦能力の強化について紹介します。

領域横断作戦は、宇宙、サイバー、電磁波の領域と陸・海・空の従来の領域における作戦能力などを有機的に融合し、相乗効果によって全体の能力を増幅させる作戦です。わが国の防衛にあたっては、個々の領域が劣勢であっても他の領域で補完することが重要であることから、防衛省・自衛隊は、宇宙、サイバー、電磁波の領域において必要な能力を拡充していきます。

宇宙

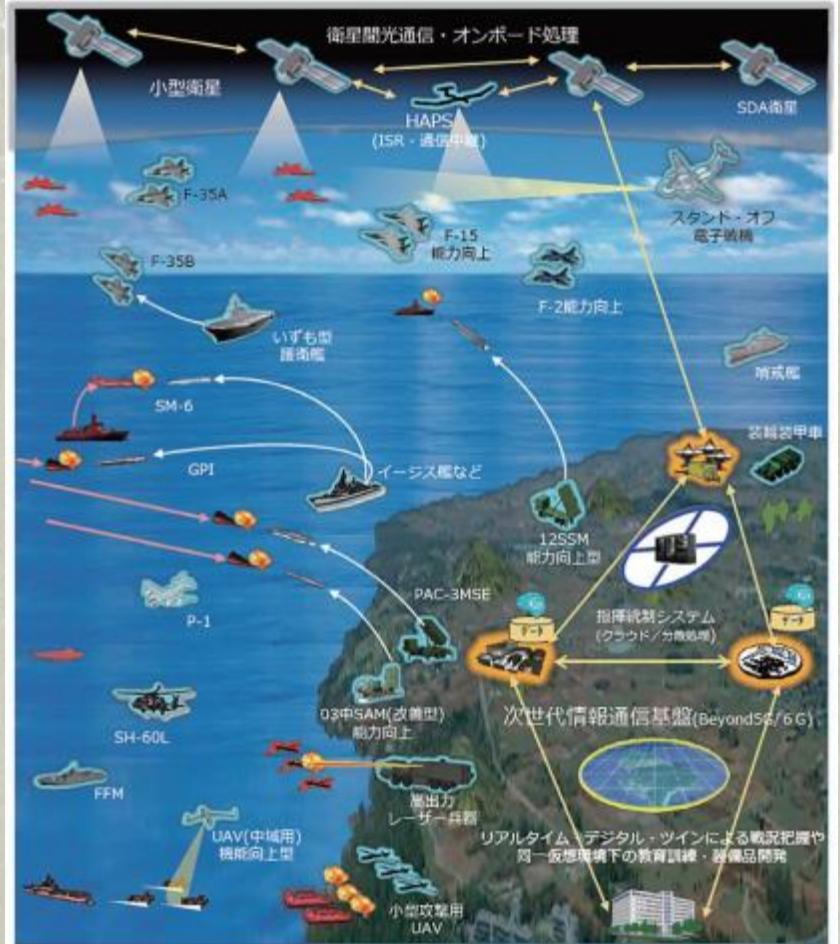
宇宙領域を活用した情報収集、通信、測位などの各種能力の向上を通じて、宇宙作戦能力を強化。

サイバー

能動的サイバー防御を含むサイバー安全保障分野における政府全体での取組と連携。

電磁波

電子戦能力や電磁波管理機能の強化に取り組むほか、民生用の周波数利用と自衛隊の指揮統制や情報収集活動などのための周波数利用を両立させ、自衛隊が安定的かつ柔軟に電波を利用できるように、関係省庁と緊密に連携しつつ、電磁波領域における能力を強化。



将来の領域横断作戦（イメージ）



練習艦「かしま」への衛星通信器材装備状況



衛星妨害状況把握装置



24式対空電子戦装置（イメージ）



電波情報収集機（RC-2）

(令和7年版防衛白書から引用)



装輪装甲車（人員輸送型）AMV 出荷式

9月2日、室蘭市に所在する株式会社日本製鋼所室蘭製作所において、装輪装甲車（人員輸送型）AMVの量産初号機の出荷式が厳粛な雰囲気の中で、陸上幕僚長及び北海道防衛局石原調達部長ほか関係者が臨席し執り行われました。

この装輪装甲車は、96式装輪装甲車の後継として選定されたものであり、開発元であるパトリア社（フィンランド）とのライセンス契約に基づき製造さ

れました。各種試験を防衛装備庁千歳試験場等において実施し、所要の性能及び安全性を確認のうえ、初号機の出荷に至りました。

北海道防衛局では納入に係る監督及び検査業務を担い、要求される品質の確保並びに安全管理に万全を期して業務にあたっております。今後は国産化に向けた製造が進められ、陸上自衛隊各駐屯地への順次配備が予定されておりますので、引き続き重要な装備品が高い品質で納入されるように取り組んでまいります。



初号機の展示



陸上幕僚長の祝辞

装輪装甲車の紹介

装輪装甲車（人員輸送型）AMVの特徴は優れた機動性と防護性並びに拡張性を備えたモジュラー構造化された車体であり、今後、指揮通信型や患者輸送型などの派生型車両を調達し、試験を行う予定です。人員輸送のみならず、国際平和協力活動においても幅広い活用が期待される装備です。

基本諸元は、4軸8輪式の全輪駆動、車体は全長約8.2m、全幅約2.8m、最高時速は100km/h以上、操縦手を含め隊員を11名乗車させることが可能となっています。

写真提供：株式会社日本製鋼所



千歳試験場の様子①



千歳試験場の様子②



北海道防衛局長感謝状贈呈

北海道防衛局は、防衛行政の推進、防衛施設の安定的な使用など当局の業務に御協力いただいた方へ感謝状の贈呈を行っています。

本年度は、佐藤標茶町長、大野新ひだか町長、斉藤上富良野町長、ひだか漁業協同組合へ、積極的な協力と多大な貢献をいただいたことに感謝の意を表し、掛水局長から感謝状を贈呈しました。



佐藤 吉彦 標茶町長



大野 克之 新ひだか町長



斉藤 繁 上富良野町長



ひだか漁業協同組合



学校での業務説明会

10月7日、大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校において、学生17名に対し業務説明会を実施しました。

地方防衛局の役割や、勤務地、職場の雰囲気などを説明し、終了後のアンケートでは「職場の雰囲気を知ることができた」や「キャリアパスがしっかりしていると思った」などのご意見をいただき、地方防衛局へ興味を持っていただけました。

北海道防衛局では、道内の学校へ訪問して学生の皆様や就職支援担当者様を対象に業務説明会を行っています。

本説明会へのご要望・ご質問等がありましたら、下記の間合せ先までご連絡をお待ちしております。

【お問合せ先】防衛省北海道防衛局 総務部総務課人事係 TEL 011-272-7590





北海道防衛施設地方審議会

9月10日、北海道防衛局において、令和7年度北海道防衛施設地方審議会が開催されました。

この審議会は、北海道防衛局長からの諮問に応じて、自衛隊の施設又は駐留軍の使用に供する施設及び区域に係る不動産等の権利の対価の額に関する事項や、自衛隊又は駐留軍の使用により不動産等について生じた損失の補償額等に関して調査・審議する機関です。7名の有識者で構成され、北海道防衛局に設置されています。

同日の審議会では、当局からの業務報告と会長代理の指名が行われた後、余市町に所在する海上自衛隊余市防備隊の現地視察が実施されました。



審議会の様子



余市防備隊の業務説明

現地視察では、余市防備隊司令から基地の業務説明及び基地内・装備品（ミサイル艇「くまたか」）の視察が実施され、委員からは「現地部隊の任務や基地などの自衛隊施設に対する理解を深めることができ、大変勉強になりました。」と防衛省・自衛隊に対する理解をより深めていただくことができました。



基地内視察



ミサイル艇視察



集合写真

北海道防衛局ホームページ・Xのご案内



北海道防衛局
HP

北海道防衛局では、入札や職員採用などの情報を随時発信しています。

広報誌「防衛北海道」のバックナンバーもご覧いただけますので、ぜひアクセスしてください。



北海道防衛局
公式X

防衛省選考採用

大卒程度：電気・電子・デジタル・機械・土木・建築
高卒者：技術

随時募集中！

※今年度の大卒程度・高卒者・社会人級の募集は終了しております。

○職務内容等

国家公務員一般職試験合格者相当として採用され、防衛施設の整備に関する業務を担当。

※詳細は【地方防衛局 選考採用】で検索

○応募資格

<係長級相当職員> 正社員等において通算12年（大卒の場合は7年）以上

<専門官級相当職員> 正社員等において通算17年6か月（大卒の場合は12年6か月）以上

随時募集中

応募から概ね1～4週間程度

順次実施

2次選考から概ね1～2週間程度

最終合格発表から概ね1～2ヶ月程度

書類受付期間

1次合格発表

2次選考

最終合格発表

採用



令和7・8年度自衛官等採用案内



種 目	採用人員	資 格	受付期間 (締切日必着)	試験期日
自衛官候補生	参考(令和6年度) 陸:約2,890名 (うち女子約750名) 海:約800名 (うち女子約200名) 空:1,200名 ※1	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	年間を通じて 行っております	受付時又は各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。
陸上自衛隊 高等工科学校 生	約230名	男子で中卒(見込含) 17歳未満の者	10月1日 ～令和8年1月15日	1次:令和8年1月24・25日 2次:令和8年2月12日 ～15日 ※いずれか1日を指定されます
自衛隊奨学生	参考(令和6年度) 陸海空 } 約40名 ※1	大学、大学院、高等専門学校等で理学、工学、文学又は法学※2を専攻しており、正規の課程を修了する年の4月1日現在で26歳未満(大学院在学者は28歳未満)	①6月3日～10月10日 ②12月1日 ～令和8年1月30日 ※3	①11月8日・9日 ②令和8年2月21日
令和8年度 予備自衛官補	一 般 募 集 参考(令和6年度) 北部方面隊管内 約110名 ※1	18歳以上52歳未満の者	①令和8年1月22日 ～3月30日	①令和8年4月中 ※4 ②令和8年9月中
	技 公 募 集 参考(令和6年度) 北部方面隊管内 約30名 ※1	18歳以上で国家資格免許等を有する者(資格により年齢上限は53歳未満～55歳未満)	②令和8年5月23日 ～9月10日 ※3	

- (注) 1. ※1：令和7年度、8年度の採用人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。
2. ※2：理学、工学、文学又は法学に類する学部・学科も応募資格に該当する場合があります。詳しくは最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせください。
3. ※3：採用予定人員数の採用が見込まれる場合は、第2回目以降の試験を実施しません。
4. ※4：8年度の試験期日につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。
5. 応募資格年齢の起算日は、種目ごと異なっていますので、それぞれの採用要項又は自衛官募集ホームページ等で確認してください。
6. その他、詳細については、各採用(募集)要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。
7. 記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

自衛官候補生

初任給 ^{UP}
(高卒) 224,600円
(大卒) 239,600円

自衛官任用一時金 ^{UP}
344,000円

指定場所生活調整金 ^{New 1}
※18歳又は19歳未満に居住する者及び、採用から6か月経過するまでの期間、毎月1万円(20万円/4年間)支給

陸上自衛隊高等工科学校

生徒手当
月額 138,000円

期末手当(6月、12月)
毎月 約238,000円

★宿舎は無料
★食事・被服費・道具は支給または貸与
★週休2日制、年末年始休暇、特別休暇あり
★自衛隊病院、駐屯地医療室においてほぼ無償で治療が受けられます。
★3学年修了時に高等学校の卒業資格を取得できます。

自衛隊奨学生

学資金として
月額80,000円を支給

★一定期間の勤務で返済免除！
★他の奨学金と併用可能！
★成績基準・所得制限・地域制限なし！
★卒業(修了)後は一般幹部候補生として採用

詳しくはQRコードまたは電話までお問い合わせください。



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



帯広地方協力本部
0155(23)5882



函館地方協力本部
0138(53)6241



自衛官募集X

予備自衛官補

一般の社会人や学生といった自衛官未経験者が、所定の教育訓練を修了後に「予備自衛官」となる制度です。

予備自衛官は、普段それぞれの職業に従事しながら必要な知識・技能を維持するため定期的に訓練を受け、有事の際には自衛官となって後方の警備や後方支援、又は国民の保護のための措置などに従事します。